



浦原宿の夜の雪の風景。渡邊家の日記は、1842年12月23日に21cmの積雪があったことを記録している。



富士川河川敷の桜海老の干し場。4~5月、11~12月の10時頃にはピンクの絨毯を敷いた風景が富士山とともに見える。

川の戦い。源氏は、この戦いに勝利することで、源氏の時代を引き寄せることになりました。

1351年の観応の擾乱の薩埵山の戦い。足利尊氏と直義との兄弟の戦いで、尊氏は桜野に本陣を置いて勝利しました。

1569年の北条と武田の蒲原城の戦い。蒲原城は堅固な城で、城主は北条新三郎。武田が囲みを解いて西へ向かう動きをみせたので、北条が城門を開いて打つて出たところを、武田に攻めこまれて落城。

蒲原城址は、静岡市指定史跡。遺構がよく残っていますので、山城の好きな方は、ぜひ、いらしてください。

歴史国道に指定された 蒲原宿

徳川家康は、蒲原に御殿を造り、武田氏攻めを終えた織田信長が、御殿で蒲原の民衆と話をした記録が残っています。当時の蒲原宿の半分ほどは、家康の御殿の敷地でした。

旧東海道の岩淵宿〜蒲原宿〜由比宿は、国土交通省から全国24カ所の「歴史国道」に指定されました。静岡市指定文化財は、全国で5

番目に古い3階建ての渡邊家土蔵と渡邊家文書3002点など。国登録文化財は、旧五十嵐歯科医院、志田家、旧和泉屋(お休み処、鈴木家)、吉田家。県近代化遺産は、日本軽金属の発電施設、橋澤家洋館、高橋家洋風住宅、西本陣平岡家洋館(現佐藤家)、青山荘。青山荘は、田中光頭伯爵が晩年を過ごした立派な建物です。

しかし、蒲原の古民家を取り壊されたり、湯布院へ移築されたりして、蒲原の良さが薄れています。

蒲原には津(港)があり、塩をはじめとする各地の産物を港から富士川町を通って鰍沢まで運ぶ塩の道がありました。明治時代に造られた堀川運河は港が発地点です。

港には、塩を保管する蔵や、富士川を舟で運ばれてきた甲州御廻米を保管する蔵、貯木場がありました。

富士川は、かつては旧東海道の沿って流れていて、大きい堤を三重に設けていましたが、現在は、高さ15mの日本で3番目に高いスーパー堤防が築かれています。

(文責：静岡商工会議所 企画広報室)



木屋江戸資料館(渡邊家土蔵)



志田家



旧五十嵐歯科医院